

園長だより

2024年7月5日

園長 澄川忠男

◆あらら・・・

ある日のトイレです。スリッパが・・・

一日の中で、きれいにそろっている時といない時とがあります。きれいにそろっている時は、子どもたちがそろえてくれた後か先生方がそろえた後です。

おもしろいことに、トイレの床を、外からアリさんが入ってきて歩いているときは、すぐに見つけて教えてくれます。子どもたちが、アリさんよりずいぶん大きいスリッパの様子を気にして、いつもそろえようとしてくれるとうれしいですね。

園の4つのおやくそくの一つ「すすんでおてつだい！」や「おともだちにやさしく！」が守れたことにつながると思いますよ。



◆自分たちでやってみる

右の2枚の写真は、子どもたちが自分たちで考えた遊びを形にしたものです。

左側は、木の板をたくさん並べて重ね合わせて、トンネルを作ったところです。何人もが協力して根気よく取り組み、1メートルくらいのトンネルを組み上げました。右側は、壁をうまく利用して、バランスストーンを並べたようです。高いストーンは壁側に並べて一周回れるように並べていました。

「自分たちでやってみる」「みんなと力を合わせてやってみる」ことは、これからの世の中ではとても大切な学びの仕方ですね。



◆「ふわふわことば」と「ちくちくことば」

小学校の低学年や中学年でもこのテーマで話し合ったり、先生が話をしたりします。次の言葉は「ふわふわ」「ちくちく」のどちらでしょうか？

「知りません」 「ありがとう」 「なんでそんなことするの」 「すごいよ」
「がんばったね」 「あとにして」 「今、〇〇してるでしょ」 「私はすごいと思うよ」
「今すぐやりなさい」 「信じてるよ」 ……

その時の状況や、その言葉が出る理由など、一概に判断できないと思いますが、どうでしょうか。もも組のみんなは、一生懸命考えたみたいですね。

自分が言われてうれしいかどうかを考えてみて、相手がうれしかったり、ほっこりしたり、思わず笑顔が出たり・・・そんな声掛けができる人間になりたいと思っていますが、私はなかなかうまくいきません。修行が足りません・・・繰り返し繰り返しですね。

